

■2021年度事業報告書

期間:2021年1月1日~12月31日

《今年度事業実績》

・2021/02/22

障がい者の自立と、企業の社会貢献活動を繋ぐ橋渡しを行い、アート展と物販を行うイベントが執り行われました。

京都の伏見区の「京都市ふしみ学園」のアート班「アトリエやっほう!」と、京都に本社のある「わかさ生活書店」の社会貢献活動を繋ぐ橋渡しを行い、障がい者への自立を応援するアート展と物販のイベントが行われました。

【実施内容】

・社会福祉施設:京都の伏見区の「京都市ふしみ学園」のアート班「アトリエやっほう!」

<http://atelieryoohoo.com/>

・場所:健康をテーマにした新しい書店「わかさ生活書店」にて

・取組:アート展と物販を行いました。

<https://newscast.jp/news/1522546/amp>

・期間:2021年2月22日~3月末



・2021年3月

新型コロナウイルス感染拡大、蔓延防止に伴い

『第4回京都ふれeyeブラインドマラソン』開催中止

障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しめる社会の実現目指し、障がい者のスポーツを支援。その一環としてわかさ生活と共に準備を進めておりました『第4回京都ふれeyeブラインドマラソン』開催について昨年より開催を延期しておりましたが、未だ新型コロナウイルス(COVID-19)の終息が見込めない状況を鑑み、2021年度における大会の開催は中止。

※次回開催時期は、社会情勢に合わせて、決定いたします。

・2021/3/22

児童養護施設の子どもたちに進級&卒業のお祝い贈呈

ご縁のある児童養護施設の子どもたち6園280名の子どもたちに向けて、昨年に引き続き、今年も年始に「角谷社長からのお年玉」を準備しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令によりお届けができず、3月に「進級お祝い」として、お届けさせていただきました。

また今春、園から巣立っていく卒業生には、わかさ生活の一縁のeye基金より一人ひとりの名前を刻印したキーケースと書籍を卒業記念品としてお贈りいたしました。

(※一縁のeye基金とは、わかさ生活の社会貢献の礎となる基金)

対象園：迦陵園・京都聖嬰会・平安徳義会養護園・平安養育院・和敬学園・睦の家



・2021/7~8月

児童養護施設の高校生と短大生に向けた自立支援と、繁忙期を迎えるブルーベリー農園を繋ぐ橋渡しを行いました。

兵庫県丹波市にて、アルバイト経験のない地元の児童養護施設(睦の家)の高校生5名と、ブルーベリーの収穫時期でもあり繁忙期を迎える夏休みに、丹波市内にあるブルーベリー農園とを繋ぐマッチング(橋渡し)を行いました。

台風や大雨などの悪天候が続き、予定より少ない日数になりましたが、初めてのアルバイトを経験した参加してくれた高校生は熱心に取り組み、就労の機会を提供できました。

【実施内容】

- ・児童養護施設：兵庫県丹波市 睦の家の高校生・短大生5名
- ・農園：わかさブルーベリー農園(株式会社わかさ生活研究農園)
- ・期間：2021年7月17日~8月末
- ・就労内容：ブルーベリーの摘み取りや果実の収穫並びに販売、グッズ販売、農園の維持管理



・2021/9~10月

ご縁のある児童養護施設(京都市内5園と丹波市内1園)に『抗菌&抗ウイルスコーティング』の施工を支援しました!

新型コロナウイルス感染拡大が子どもたちにも広がっている状況を受け、「子どもたちの新型コロナウイルス感染拡大へのリスクと不安を軽減したい!」との想いで、日頃から交流のある児童養護施設6園(京都府京都市内5園・兵庫県丹波市内1園)に『抗菌&抗ウイルスコーティング』施工を実施し、子どもたちの感染リスクと不安を軽減して、少しでも安心して過ごせるよう支援を行いました!

若々しく健康的な生活を提供する企業の責任として、わかさ生活の社内では、コロナ以前から従業員が安心して働けるように、『オフィスまるごと抗菌&抗ウイルスコーティング “デルフィーノ”』を導入しています。

そこで、わかさ生活では、学校・保育施設などでも感染が広がっている現状を受け、交流のある児童養護施設にも、この『オフィスまるごと抗菌&抗ウイルスコーティング “デルフィーノ”』の施工を支援いたしました。

【実施児童養護施設名】

- ・9/30(木) 児童養護施設 睦の家
- ・10/1(金) 社会福祉法人 平安養育院
- ・10/4(月) 児童養護施設 京都聖嬰会
- ・10/5(火) 児童養護施設 和敬学園
- ・10/7(木) 社会福祉法人 平安徳義会養護園
- ・10/14(木) 社会福祉法人 迦陵園

なお、この支援は、わかさ生活の『一縁のeye基金』を活用して実施させていただきました。
(※一縁のeye基金とは、わかさ生活の社会貢献の礎となる基金)



・2021/12/24

児童養護施設の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈呈

ご縁のある児童養護施設の子どもたちへ北欧フィンランドのサンタクロース村のサンタさんから届いたメッセージ動画を観ることができるXmasカードと星桜マンガ研究会から『花鈴のマウンド』、また、各園に図書カード(各3万円)をわかさ生活の社会貢献の礎となる一縁のeye基金からプレゼント。各園では、職員の方と一緒に書店へ出かけて購入したり、インターネットで注文したり……。自分の欲しい絵本や本を選んで、購入していただきました。

対象園: 迦陵園・京都聖嬰会・平安徳義会養護園・平安養育院・和敬学園・睦の家



《次年度事業予定》 期間：2022年1月1日～12月31日

2022年は、株式会社わかさ生活の社会貢献活動を社会の変化に合わせて、継続できる社会貢献活動の模索と仕組み構築のサポートをに注力してまいります。

《今年度役員》

設 立 者 ：角谷 建耀知
：株式会社 わかさ生活

相談役(理事)： 栄 芳郎

代 表 理 事 ： 鋤田 茉南未

理 事 ： 荻野 祥世
： 松浪 宏二
： 角谷 元斗煌

監 事 ： 大石 真也

評 議 員 ： 角谷 建耀知
： 玉越 久義
： 山元 晴美